

香川県医師会誌

第 78 卷

特 別 号

通 卷 411 号

令 和 7 年 度

香川県医学会

2025年9月28日（日）

主催：香川県医師会

担当：高松市医師会



表紙写真の説明

あなぶきアリーナ香川

2025年2月、香川県高松市に誕生した中四国最大級の多目的アリーナ「あなぶきアリーナ香川」。

本写真は、北側上空からドローンで撮影されたもので、施設全体のダイナミックな構造と周辺環境との調和が一望できます。曲線を描く屋根のフォルムと広々とした敷地が、空からの視点により一層際立ち、地域の新たなランドマークとしての存在感を放っています。

最大1万人を収容するメインアリーナを中心に、スポーツ・文化・地域交流の場として、多くの人々が集う、活気に満ち溢れた空間が広がり、香川の未来を担う拠点となっています。

令和7年度香川県医学会参加申込書

日 時：令和7年9月28日（日）8時50分から
場 所：かがわ国際会議場・サンポートホール高松
主 催：香 川 県 医 師 会
担 当：高 松 市 医 師 会

【医学会ホームページ】



1. 各種項目を記入してください。

申込日：令和7年 月 日

フリガナ	
氏 名	
所 属 施 設 名	
連 絡 先 T E L	
連絡先メールアドレス	
所属郡市区医師会	☐ 高松 ☐ 坂出 ☐ 丸亀 ☐ 大川 ☐ 木田 ☐ 小豆 ☐ 綾歌 ☐ 仲多度・善通寺 ☐ 三豊・観音寺 ☐ 香川大学 ☐ 非会員※1※2
そ の 他	次の項目に該当する場合は☑を入れてください。（無い場合は☑不要） ☐ 一般演題発表者 ☐ 初期研修医

※1 非会員の参加費は1,000円です。

※2 非会員のうち初期研修医および一般演題発表者の参加費は無料です。

2. 懇親会の出欠および当日の昼食（お弁当）の要否について✓をつけてください。

内容	金額	回答	支払方法
懇親会	15,000円	☐ 出 席 ・ ☐ 欠 席	費用が必要な場合のみ☑ ☐ 銀行振込 ・ ☐ 持参
昼食（弁当）	1,000円	☐ 要 ・ ☐ 否	

3. 準備の都合上、次のうち参加するプログラムにチェックを入れてください。

プログラム名	回答
特別講演※3	☐ I ・ ☐ II 両方選択可能
ランチョンセミナー※4 【弁当あり／要予約（先着100名）】	☐ I ・ ☐ II 選択はどちらか1つ

※3 特別講演Ⅰは、日本医師会生涯教育講座（1単位CC12地域医療）および日本専門医機構認定共通講習ー地域医療（1単位）に指定されています。

※4 ランチョンセミナーのお弁当は完全予約制となります。当日の申し込みはできません。なお、ランチョンセミナーに参加する場合、「2. 昼食（弁当）1,000円」の予約は不要です。

申込方法は裏面をご覧ください

⇒（裏面へ）

令和7年度香川県医学会参加申込方法

参加費について

参加費が必要な場合は次のとおりです。なお、返金はありません。

- 1) 懇親会出席者 15,000円
- 2) 昼食（弁当）申込者 1,000円（ランチョンセミナーに参加の場合は不要）
- 3) 医師会非会員の参加者 1,000円（一般演題発表者および初期研修医を除く）

1. 申込方法

（1）専用フォームによる申込

- ① 香川県医学会ホームページの参加申込専用ページからお申込みください。

（URL）<https://kagawaken-igakukai.jp/entry/>

- ② お申込み後、完了メールが表面の「1. 連絡先メールアドレス」に届きますのでご確認ください。

⇒参加費が不要の場合・・・申込完了

【参加申込】



⇒参加費が**必要**の場合

次の振込先口座へお振込みください。（振込手数料はご負担願います）

（振込先口座）

銀行名	支店名	種別	口座番号	口座名義
百十四銀行	本店	普通	0027735	イッパンシャダンハウジンタカマツシイシカイ 一般社団法人高松市医師会

（2）（1）以外による申込

- ①参加費が**不要**の場合

表面の各種事項をご記入の上、所属の都市地区医師会事務局までFAXまたは郵送等によりお申し込みください。

- ②参加費が**必要**の場合

会 員・・・・・・表面の各種事項をご記入の上、所属の都市地区医師会事務局まで持参によりお申込みいただき、参加費をお支払いください。

非会員・・・・・・表面の各種事項をご記入の上、高松市医師会事務局まで持参またはFAX（087-831-2215）等によりお申込みいただき、参加費をお支払いください。（上記振込口座への振込でも可）

2. 申込期限

令和7年9月12日（金）

※香川県医師会非会員の方・初期研修医の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

（管理者・指導医の先生方よりお願いいたします。）

皆様のご参加をお待ちしております

令和7年度 香川県医学会

テーマ

2040 超高齢社会にむけて



期 日	令和7年9月28日（日）
場 所	かがわ国際会議場 サンポートホール高松
主 催	香 川 県 医 師 会
担 当	高 松 市 医 師 会

目 次

ご 挨 拶	2
参加者へのご案内	4
発表者・座長の先生方へのご案内	6
会場へのアクセス	9
会場案内図	10
日程及び座長・発表者一覧表	12
ランチョンセミナーのご案内	13
特別講演	14
企業展示のご案内	18
懇 親 会	19
アトラクション紹介	20
第 1 会 場 特 別 講 演 I ・ II	21
循 環 器 (I) (1～7)	23
循 環 器 (II) (8～12)	24
シ ン ポ ジ ウ ム	
運 動 器 (13～17)	25
第 2 会 場 消 化 器 (I) (18～28)	27
消 化 器 (II) (29～41)	28
第 3 会 場 眼 科 (42～48)	31
運 動 器 ・ リ ハ ビ リ (49～53)	32
小 児 科 (54～63)	32
第 4 会 場 呼 吸 器 (I) (64～70)	35
呼 吸 器 (II) (71～76)	36
地 域 ・ 在 宅 ・ 災 害 (77～82)	37
耳 鼻 科 (83～85)	38
第 5 会 場 神 経 ・ 筋 (脳神経外科) (86～91)	39
神 経 ・ 筋 (脳神経内科) (92～96)	39
泌 尿 器 ・ 腎 内 (97～104)	40
内 分 泌 ・ 代 謝 (105～107)	41
第 6 会 場 血 液 ・ 造 血 (108～114)	43
アレルギー・免疫・感染 (115～121)	44
産 婦 ・ 乳 腺 (122～125)	45
中 毒 ・ 救 急 ・ 患 者 対 話 (126～130)	46
一般講演抄録	47



ご 挨拶

香川県医師会長

久 米 川 啓

この度、令和7年度の香川県医学会が、高松市医師会の担当にて、かがわ国際会議場とサンポートホール高松で開催されることになりました。開催に際し、ご尽力いただきました高松市医師会長である伊藤輝一先生を始め、役員の先生方、職員や関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

今年度の特別講演1題目は、木下博之先生にご講演いただきます。木下先生は、香川大学医学部法医学教室教授時には香川県医師会警察医会顧問としてご教授いただいておりますが、昨年4月に警察庁の附属機関である科学警察研究所所長に就任されました。この「科警研」は全国各地にある「科捜研」の上部組織であり、より複雑な研究や「科捜研」の職員の研修も行っている機関と伺っています。死因究明の最高機関であり我々としても嬉しい限りです。先生には今回「死因究明制度の現状と課題」と題してご講演いただきますが、現在どのような科学捜査が行われているのか、また制度の現状と課題について興味深いお話が伺えるものと期待しています。

特別講演2題目は、「チャレンジのその先へ」と題して、プロアドベンチャーレーサーである田中陽希氏にご講演いただきます。田中氏は、チームでのアドベンチャーレースを経て、一人で、しかも陸路は徒歩とスキー、海路はシーカヤックやパックラフトを使い、人力のみで繋ぎ合わせる旅で、日本全国計501座の山を完全踏破し、その総移動距離は約3万6千kmに及ぶそうで、体力とスキルだけでなく、強靱な精神力の持ち主なのだと驚愕いたします。それも過去の物語だと語り、未来へのチャレンジを続ける田中氏の講演を楽しみにしています。

特別講演1題目には、日本専門医機構認定共通講習単位（地域医療1単位）を付与しております。専門医の更新基準には、共通講習必修講習である地域医療など5年間にそれぞれ1単位以上の受講が必須です。必要な先生はご参加ください。

今回も幅広い分野の演題が多数集まりました。演者・座長の先生方に心よりお礼を申し上げます。本医学会は、県内の先生方が診療科目やキャリアの垣根を越えて、一堂に会する唯一の機会です。参加される皆様には、是非色々な先生の発表を聴いて、知識を深めていただきたいと思います。

最後に、本医学会開催にあたり、多大なるご支援ご協力を賜りました関係者の皆様に深く感謝を申し上げ、私からのご挨拶といたします。



ご 挨拶

高松市医師会長

伊 藤 輝 一

令和7年度の第81回香川県医学会は、高松市医師会が担当させていただきます。

今年は、2000年に介護保険制度ができて四半世紀の節目の年。2025年を目標としていた多職種連携による地域包括ケアシステムも一応骨格ができ、次なる目標年次は高齢者数がピークを迎えるとされる2040年に設定されました。医療は「治す医療から支える医療」に変化しつつあり、一人暮らしの高齢者が4割に達し、慢性疾患・認知症診療も在宅でのオンライン中心のD to P with Nで行われ、病院・診療所での診療のみならず、医療機関を受診できない人たちをどう担っていくか、社会全体で考える時代の到来です。

猛スピードで進む少子高齢化。あらゆる職種で労働力不足は深刻ですが、いずれはICT・AI導入による労働力の代替が進むはずで、一部には遠からず医師が余るとの予測すら出ています。ただ、ACPもできない高齢者の孤独死の増加に対して、警察からの連絡で臨場する医師が検視官立会いの下、検案書を書くという案件は確実に増加します。その際、決して事件性が見過ごされることの無いようにしなければなりません。

本年の香川県医学会は、そうした未来予測の上に立って、「2040 超高齢社会にむけて」をテーマに掲げました。

特別講演は、以下の2題とさせていただきます。

I 「死因究明制度の現状と課題」

香川大学医学部法医学教室教授から科学警察研究所所長に移られた木下博之先生に、大変ご多忙の中ご講演頂きます。2040年、かかりつけ医が今以上に担うであろう死体検案時の注意点を、全国レベルでの最新の科学捜査の研究や指導の観点からお話いただけたと思います。外表所見のみで死因を推定し、検案書を作成しなければならない医師の注意すべき点をしっかり拝聴したいと思います。

II 「チャレンジのその先へ」

プロアドベンチャーレーサー田中陽希氏は、NHKBSで「日本百名山一筆書き」、「日本二百名山一筆書き」に続き、「日本三百名山（301座）一筆書き」を成し遂げられた知る人ぞ知る冒険家です。氏の風貌から天台宗の「千日回峰行」を成し遂げた大阿闍梨を思い浮かべる方も多いと思いますが、コロナ禍を挟んだ2018年から3年7か月、2万キロを走破された唯一無二のご経験を語っていただきます。その体験から、氏の人生観やわが国の将来に向けてのチャレンジについて、熱く語っていただけるものと思います。人生にスポーツがいかに大切か、お話を伺いながら感動を共有させていただきたいと思います。

本学会の趣旨である「学術振興の意識を高め、県内会員との親睦を図る」をご理解の上応募いただいた午前の一般演題数は、2017年の第73回以来の130題となりました。働き方改革の中で大変お忙しい中、日ごろの臨床経験、研究成果を発表していただける先生方の熱意に敬意を表したいと思います。

なお、時間の関係で、教育講演は設けませんでした。また、ランチョンセミナーは、「高血圧症診療」と「骨粗しょう症治療」についての2題とさせていただきます。

最後に、本医学会の開催に当たりご尽力頂いた会員・役員・事務局職員の方々、ご支援を賜りました企業・団体の皆様に心より感謝を申し上げます。

▶ 参加者へのご案内

1. 参加受付

(場所) かがわ国際会議場 (高松シンボルタワータワー棟6階)

(時間) 8:30~

- 受付でネームカードとホルダーをお渡しします。会場では必ずご着用ください。
- プログラム抄録集は本誌をご持参ください。
- 当日に本紙(抄録集)をお忘れになった場合など、購入を希望する方は1冊1,000円で販売いたします。

2. 参加費

香川県医師会員：無料

香川県医師会非会員：1,000円(抄録集を含む料金です)

初期研修医：無料

一般演題発表者：無料

3. 取得単位

特別講演Ⅰ『死因究明制度の現状と課題』

- 日医生涯教育講座

日本医師会生涯教育認定単位：1単位(カリキュラムコード12、地域医療)

- 日本専門医機構認定共通講座

専門医共通講習：地域医療1単位

受講が確認された方へ当日、受講証明書をお渡しいたします。

4. 呼び出しについて

- 会場内での呼び出しは原則として行いませんのでご了承ください。
- 緊急の場合は、総合受付にお申し出ください。会場進行係が適宜対応します。

5. 携帯電話に関するお願い

- 電源をOFFにするか、マナーモードに切り替え、通話は会場外でお願いいたします。

6. 禁煙のご協力のお願い

- 会場は全面禁煙とします。

7. 撮影・録音に関するお願い

- 会場内での撮影、録音、録画はお控えください。

8. クロークについて

- 総合受付の奥に設けています。係員にお申し出ください。
- お預かり時間は8:30から17:00までです。

9. 昼食について

- お弁当は事前予約制です。(料金：1,000円)
- 昼食会場は、6階65会議室(案内図p11参照) 時間11:30~13:30
- ランチョンセミナーⅠ、Ⅱ会場では、完全予約制でお弁当を用意いたします。(無料)

10. 懇親会について

- 参加には事前申し込みが必要です。〈懇親会費15,000円〉
- 会場はJRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」です。

11. 駐車場について（交通規制に伴う来場時の留意点）

- 学会専用の駐車場はございません。
- お車でお越しの場合は、会場地下駐車場または近隣の一般有料駐車場をご利用いただくことになりますが、会場のサンポート高松周辺では、土日休日に恒常的にプロムナード化（歩行者専用化）が実施されており、当日も会場南側（高松駅北側）の道路において車両通行止め（規制時間9時～21時）となっておりますのでご注意ください。（本誌P9参照）

【駐車場】



【プロムナード】



▶ 発表者・座長の先生方へのご案内

1. 受付

(場所) かがわ国際会議場ロビー (高松シンボルタワータワー棟6階)

(時間) 8:30~

(1) 座長

- ・セッション開始時刻の20分前までに、総合受付の「座長受付」で受付をお願いします。
- ・ご担当のセッション開始時刻の15分前までに講演会場内右手前方の次座長席へお越しください。
- ・会場担当者より進行等についてご説明させていただきます。
- ・プログラムの定時進行にご配慮いただきますようお願いいたします

(2) 発表者

- ・全ての発表者は、セッション開始時刻30分前までに、総合受付の「発表者受付」で受付を行った後、同ロビー内設置のPC受付を済ませてください。
- ・セッション開始15分前までに講演会場内左手前方の次演者席までお越しください。

2. 発表データについて

- (1) 発表はすべてPC発表 (PowerPoint) のみといたします。
- (2) 発表データは、PowerPoint2010~2024 (office365を含む) のバージョンで作成してください。
- (3) PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。
- (4) データ発表での動画・音声の出力は出来ません。動画・音声データを含む場合はご自身のPC本体をお持ち込みください。
- (5) アップロード期限は9月19日 (金)までとなっています。19日 (金) を過ぎるとデータのアップロードはできなくなります。

〈データ発表の場合〉

- (1) 作成に使用されたPC以外でも必ず動作確認を行っていただき、USBフラッシュメモリーでご持参ください。
- (2) フォントは文字化け、レイアウト崩れを防ぐため下記のフォントを推奨いたします。
MSゴシック. MS Pゴシック. MS明朝. MS P明朝. Arial.Century.
CenturyGothic. Times NewRoman
- (3) 発表データは学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。
- (4) スライド画面の比率は16:9で作成をお願いします。

〈PC本体持ち込みによる発表の場合〉

- (1) Macで作成したものと動画・音声データを含む場合は、ご自身のPC本体をお持ち込みください。タブレット端末等の持ち込みはお受けいたしかねます。
- (2) プロジェクターとはHDMIで接続します。HDMIへの変換が必要な機種では変換コネクタをご持参ください。また、演台上のキーボード・マウスと接続するため、USB Type-Aに接続できるPCまたは変換コネクタをお持ちください。
- (3) 再起動をすることがありますので、パスワードは“不要”に設定してください。
- (4) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
- (5) 動画データ使用の場合は、WindowsMediaPlayerで再生可能であるものに限定いたします。
- (6) スライド画面の比率は16:9で作成を推奨いたします。
- (7) 利益相反 (COI) の開示については、スライドの最初に情報開示をお願いします。
参考資料は令和7年度香川県医学会ホームページに掲載しております。

(URL) <https://kagawaken-igakukai.jp/user/>

3. 発表時間

- (1) 講演6分、質疑応答2分
- (2) 発表時間の終了1分前に黄ランプ、終了時刻に赤ランプを点灯します。
- (3) 討論は座長に従って、発言をお願いします。
- (4) 発表者・座長・発言者ともに、時間厳守にご協力をお願いします。

4. 発表形式

- (1) 発表者の先生は、PowerPointの送りの操作のみ、演台上のキーボード・マウスを使用し、ご自身で行ってください。

5. お問い合わせ先

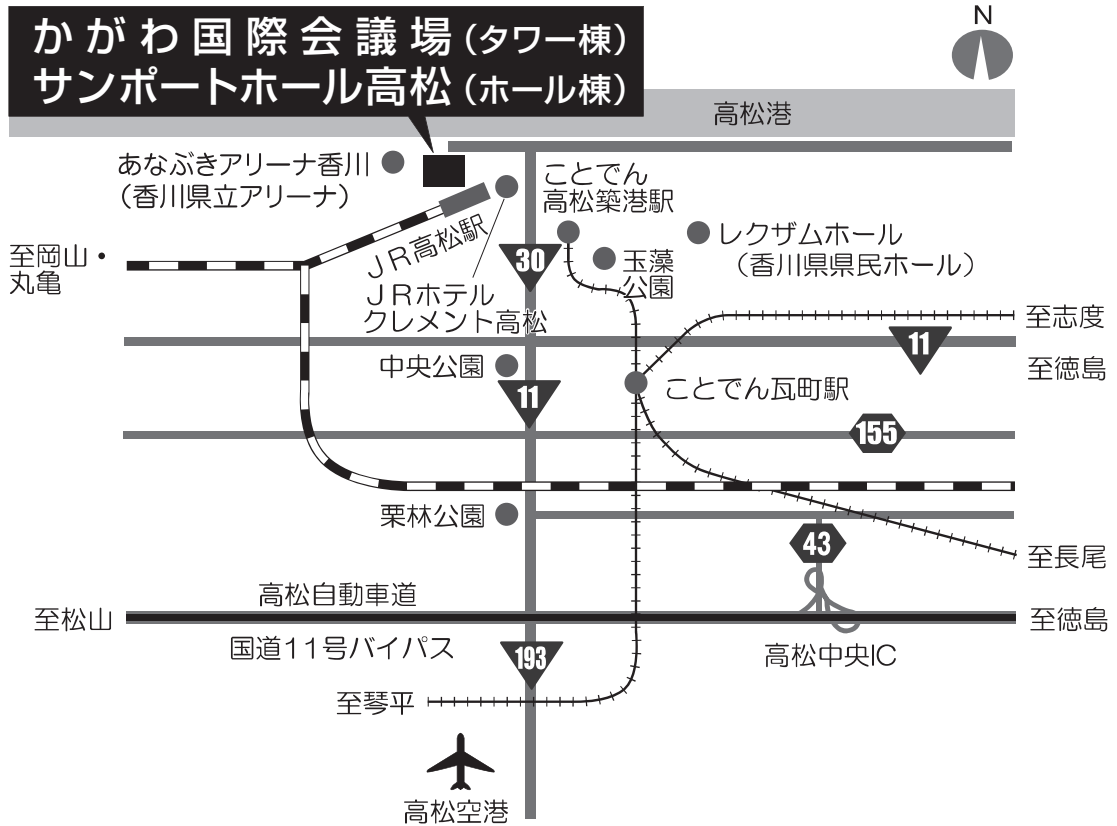
令和7年度香川県医学会事務局高松市医師会
〒760-0068 高松市松島町1丁目16番20号
TEL：087-831-2208 FAX：087-831-2215
e-mail：t-m-a@takamatsu-med.com

MEMO

This image shows a full page of a worksheet designed for handwriting practice. It consists of multiple sets of three horizontal dashed lines, providing a guide for letter height and placement. The lines are evenly spaced across the entire page, leaving ample room for writing practice. There is no text or other markings on the page.

▶ 会場へのアクセス

▶ サポートホール高松へのアクセス



▶ サポート地下駐車場へのアクセス

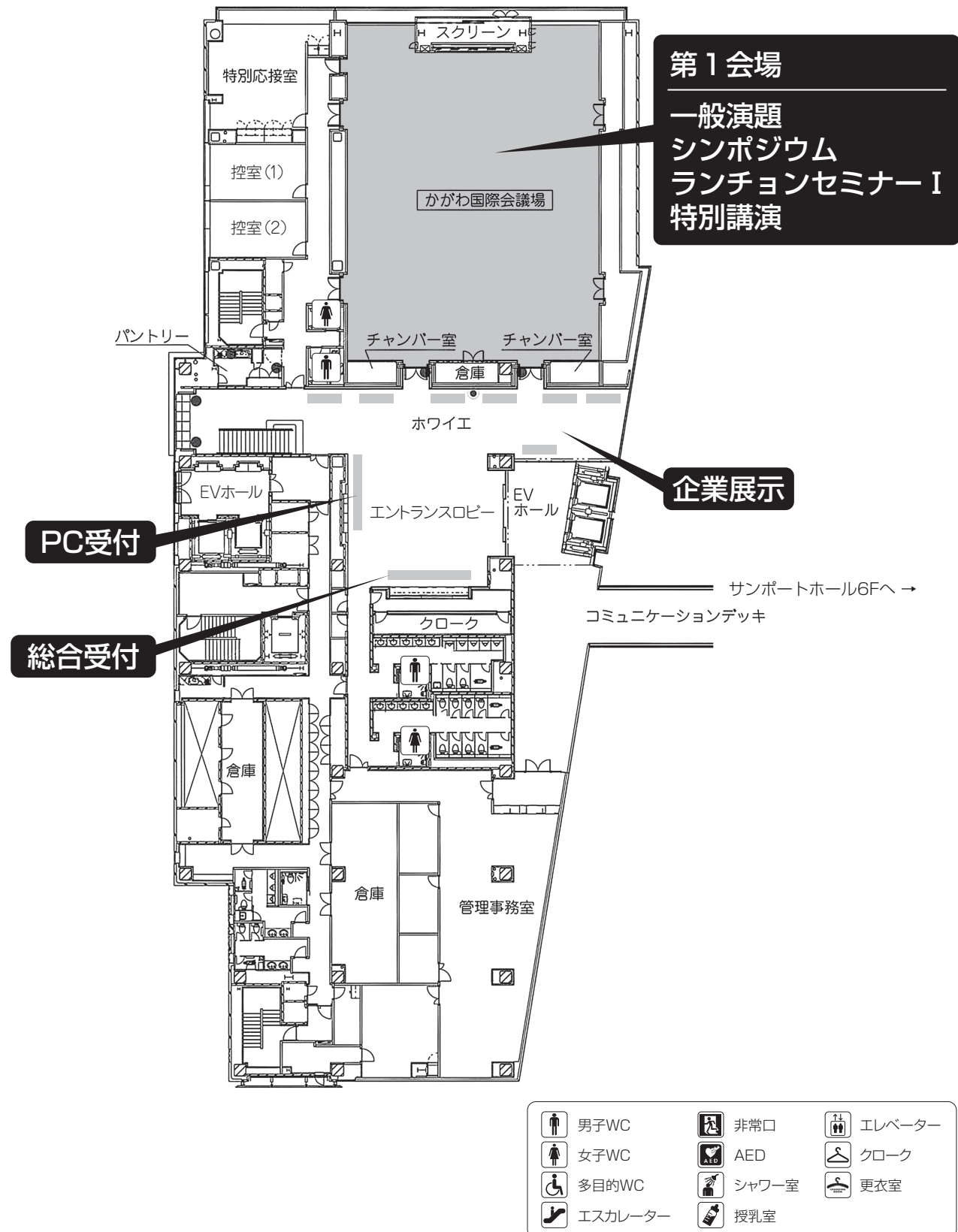


駐車場詳細

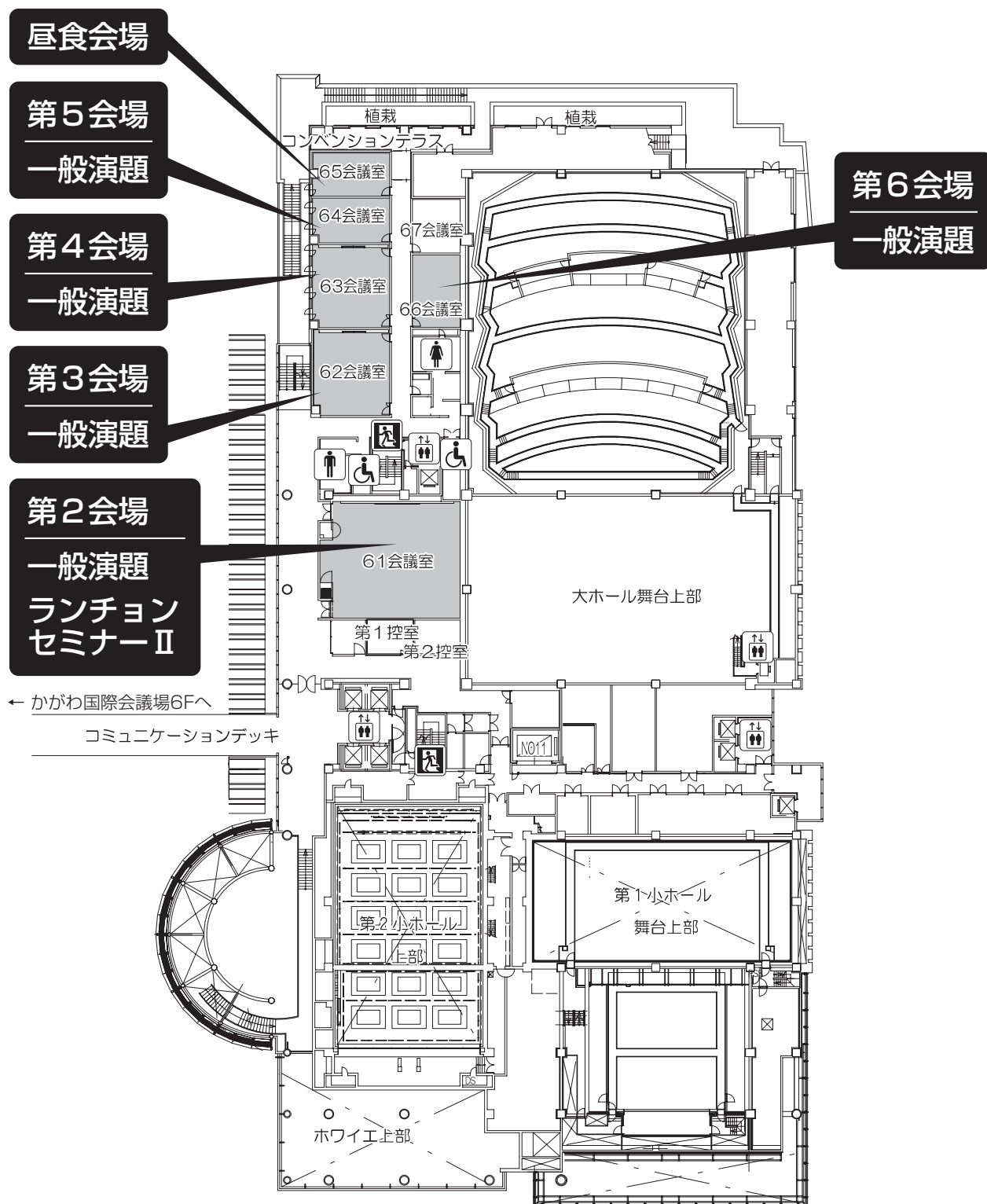


▶ 会場案内図

6F かがわ国際会議場



6F サポートホール高松



男子WC	非常口	エレベーター
女子WC	AED	クローク
多目的WC	シャワー室	更衣室
エスカレーター	授乳室	

▶ 日程及び座長・発表者一覧表

会場 時間	第1会場 かがわ国際会議場 タワー棟6階	第2会場 61会議室 ホール棟6階	第3会場 62会議室 ホール棟6階	第4会場 63会議室 ホール棟6階	第5会場 64会議室 ホール棟6階	第6会場 66会議室 ホール棟6階
9:00	開会の辞					
	循環器 (I) 9:00~9:56 座長 小島章裕	消化器 (I) 9:00~10:28 座長 コルビン真梨子	眼科 9:00~9:56 座長 杉田江妙子	呼吸器 (I) 9:00~9:56 座長 森 由弘	神経・筋(脳神経外科) 9:00~9:48 座長 香川昌弘	血液・造血 9:00~9:56 座長 川上公宏
10:00	1 谷川 聡 2 中原 大輔 3 籠島 誠人 4 辻 修平 5 奥山 倫弘 6 難波 経立 7 和田 健作	18 琢磨 慧 19 明石 耕生 20 山内 健司 21 コルビンヒュー・俊佑 22 稲葉 知己 座長 稲葉知己 23 向井 一貴 24 間島 永莉 25 高木 陽菜 26 西村 晃彦 27 元木 史佳 28 小川 力	42 濱中 史奈 43 三好 浩介 44 斎藤 了一 座長 藤澤 綾 45 浦井 由光 46 宮本 龍郎 47 村田 晶子 48 木下 雅人	64 田岡 慶大 65 筒井 雅貴 66 近藤 大祐 67 西垣内 哲 68 市川 裕久 69 森 由弘 70 川田 浩輔	86 伊藤 謹民 87 柚木 正敏 88 西廣 真吾 89 高橋 悠 90 新堂 敦 91 露口 悠太	108 松本 香穂 109 山本 光貴 110 國定 浩大 111 太巻 侑香 112 松岡 亮仁 113 石田 智也 114 井出 眞
11:00	循環器 (II) 10:01~10:41 座長 香西由美子	29 横山 拓海 30 森本 智紀 31 和唐 未来 32 藤原 理朗 33 浅野 栄介 34 鈴木 優之 35 矢野 匡亮 座長 齊藤 誠 36 大川慎太郎 37 吉川 幸造 38 吉川 幸造 39 藤田 脩斗 40 山本 尚樹 41 矢野 匡亮	運動器・リハビリ 10:01~10:41 座長 吉峰公博	呼吸器 (II) 10:01~10:49 座長 青江 基	神経・筋(脳神経内科) 9:53~10:33 座長 高田 裕	アレルギー・免疫・感染 10:01~10:57 座長 佐用義孝
	運動器 [シンポジウム] 10:46~11:56 座長 本田 透		小児科 10:46~12:06 座長 清水真樹	地域・在宅・災害 10:54~11:42 座長 太田憲吾	泌尿器・腎内 10:38~11:42 座長 西口 潤	産婦・乳腺 11:02~11:34 座長 米澤 優 122 堀口 育代 123 鶴田 智彦 座長 吉澤 潔 124 秋庭 健志 125 中川美砂子
12:00	13 加地 良雄 14 井上 智雄 15 秋田 光輝 16 福岡奈津子 17 今井 弘子		54 久保 裕之 55 岩瀬 孝志 56 木暮 鉄邦 57 川西 雄大 座長 難波正則 58 小谷野 薫 59 日下 智陽 60 大橋 育子 座長 眞鍋正博 61 松永 圭司 62 柴崎 三郎 63 松原 玄明	71 村上ひかる 72 三竿 貴彦 73 入江恵一郎 74 金地 伸拓 75 舟田 舞子 76 小西 治子	92 畑中 良太 93 太山賀珠人 94 秋山 祐子 95 高橋 義秋 96 勝間田 篤 座長 泉 和良 98 中野 輝権 99 岡添 誉 100 岡添 誉 101 上松 克利 座長 光中弘毅 102 上田 修史 103 池上 春香 104 大西 茂明	115 作山 浩希 116 尾崎 洋基 117 亀田 智広 座長 塩見勝彦 118 眞鍋 佑資 119 國重 誠 120 國重 誠 121 向井 一貴
12:30	ランチョンセミナーI 12:30~13:20	ランチョンセミナーII 12:30~13:20				
	特別講演 I 13:40~14:55 講師 木下 博之 座長 飛梅 董					
15:10	特別講演 II 15:10~16:40 講師 田中 陽希 座長 伊藤 輝一					
	閉会の辞					
16:40						
13:40			かがわ国際会議場 ロビーホワイエ タワー棟6階 9:00~16:00 企業展示			65会議室 ホール棟6階 11:30~13:30 昼 食
15:10					JRホテルクレメント高松 3階「玉藻の間」 17:30~20:00 懇親会	

▶ ランチョンセミナーのご案内

◆ランチョンセミナーⅠ

【会場】第1会場（タワー棟6階「かがわ国際会議場」）

【時間】12：30～13：20

座 長：長谷川 浩 一 先生（はせ川内科循環器科医院 院長）

演 題：「高血圧管理・治療ガイドライン2025から考える
明日からの高血圧診療」

講 師：勝谷医院 院長 勝 谷 友 宏 先生

共催：第一三共株式会社

◆ランチョンセミナーⅡ

【会場】第2会場（ホール棟6階「61会議室」）

【時間】12：30～13：20

座 長：真 鍋 健 史 先生（キナシ大林病院 院長）

講演1

演 題：「骨粗鬆症患者に対する脊椎固定術と骨粗鬆症治療」

講 師：三豊総合病院 整形外科部長 塩 崎 泰 之 先生

講演2

演 題：「骨粗鬆症と運動機能から考える膝関節治療
－かかりつけ医と専門医で共有したい視点－」

講 師：高松赤十字病院 第二整形外科部長 浜 田 大 輔 先生

共催：旭化成ファーマ株式会社

※ランチョンセミナーのお弁当は事前申込み制となっております。

当日の申込みはできません。ご了承ください。

お弁当数に限りがございますので、先着100名までとさせていただきます。

▶ 特別講演 I



死因究明制度の現状と課題

木 下 博 之 先生

科学警察研究所所長

講演抄録

最近、「死因究明」という言葉を耳にすることはないでしょうか。「死因究明」とは、「死亡に係る診断若しくは死体の検案若しくは解剖又はその検視その他の方法により、その死亡の原因、推定年月・日時及び場所等を明らかにすること」をいいます。

現在の日本の人口は約1億2000万人で、令和6年には全国で約160万人が死亡しています。このうち、約140万人余りの方は明らかな病気等で死亡しており、死因や死亡時刻については明らかですので、多くの例ではこの「死因究明」の対象にはなりません。

生前の状況が不明で、その死因等がはっきり確定できない事例が「死因究明」の対象となります。ご存じのように、日本の制度では、これらの死者については、すべて警察で取り扱うことになります。具体的には、死亡時に医師の立ち合いがないような死亡（例えば独居者の死亡）や事故や自殺、さらに殺人事件なども含みます。警察の取り扱う死体数は総死亡数の約12-13%を占めており、人口の高齢化の進展に伴い、総死亡数は今後も増加すると考えられ、それに伴い警察取り扱い数は今後も高い水準を維持すると思われます。

これらの事例では、司法警察員による検視が行われます。検視は死因が犯罪に起因するか否かを判断する行為で、医学的な見地からの医師の意見を聴取する必要があります。その際に、医師が、外表から検査して得られた医学的所見に加え、死体を取りまく種々の状況や、既往歴などを検討したうえで、死因、死亡時刻、法医学的異状の有無を判断することを「死体検案」といいます。さらに、必要に応じて解剖検査が実施されます。

「死因究明」の目的の一つに「公衆衛生の向上」があります。疾病や病態の発生の予防、感染症の早期把握、中毒や事故の防止など、様々な観点があります。例えば、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による死亡例では、血栓症が死亡の引き金になっていることが報告されています。これらは、外国からの報告ですが、亡くなった方の解剖結果から明らかになったことといえます。

さらに、死者に関する情報から、予防にも役立てることができる情報が得られれば、事故の防止などにも活用できる可能性があります。近年、猛暑の日が多いですが、連休前ころから、熱中症に対する警戒が盛んに報道されるようになってきています。熱中症も、外因（環境要因）によるものなので、これらは、熱中症に対する注意を喚起する上で役立っています。

講演では、これら死因究明の現状と課題について、お話ししたいと思います。

【略 歴】

平成8年4月 香川医科大学助手（法医学講座）
平成13年1月 兵庫医科大学講師（法医学講座）
平成14年6月 兵庫医科大学助教授（法医学講座）
平成17年4月 兵庫医科大学教授（法医学講座）
平成21年1月 香川大学教授（医学部法医学）
令和6年4月 科学警察研究所所長

現在に至る

【主な所属学会】

日本法医学会（理事：平成25～29年、令和元～5年、令和7年～）
日本法医病理学会（理事：平成29年～）
日本法中毒学会（理事：令和3年～）
日本法科学技術学会（理事：令和6年～）

【委員等】

平成21年4月～令和6年3月 香川県医師会 裁定委員
平成24年9月～令和4年8月 厚生労働省 社会保障統計分科会
疾病、傷害及び死因分類専門委員会 専門委員

【著 書】

Handbook of Forensic Medicine (2nd Ed). (Madea B ed.) John Willy & Sons Ltd. : 2022
標準法医学（第8版）（池田典昭、木下博之 編著）医学書院 2022
死体検案ハンドブック（第4版）（近藤稔和、木下博之 編著）金芳堂 2020
経験から学ぶ大規模災害医療 対応・活動・処置（丸川征四郎 編著）永井書店 2007

▶ 特別講演Ⅱ



チャレンジのその先へ

～チャレンジを続けるための精神力と心身の鍛え方～

田 中 陽 希 氏

プロアドベンチャーレーサー

講演抄録

大学時代、僕は教師を目指していました。両親も疑うことなく「陽希は教師になる」と考えていたのだと思います。そんな両親の信頼を裏切るように突然飛び込んだアドベンチャーレースの世界。父に相談をした時、少しの動揺はあったと思いますが、「自分が信じる道に行くなら、俺がスポンサーになってやる」と言ってくださった父の言葉は今でも忘れません。

アドベンチャーレースは知る人ぞ知るマイナースポーツです。しかしその世界は自分にとって人生をかけられると思える世界でした。その強い想いを父は汲み取ってくれたのだと思います。

2006年に出会ったアドベンチャーレースから、群馬県に拠点を置くチームイーストウインドと出会い、2008年に正式なメンバーとして活動を共にしました。それから16年間、2024年の脱退までには数多くの世界戦に挑むことができ、最高成績は世界2位まで走ることができました。

情熱のすべてを注いでいたアドベンチャーレース時代、その知名度と自分自身をさらに高めるために、今から11年前となる2014年にスタートさせたのがグレートトラバースプロジェクトです。

チームから一時的に離れ、一人の人間として臨んだこのプロジェクトは、自分の30代という時間のほぼすべてを費やすことになるロングプロジェクトへと成長していきました。

アドベンチャーレーサーとしては、国内では絶対に体験できない地球の広大な自然を舞台に多くのレースへ出場してきましたが、日本の山々とそこへと続く道を黙々と歩き続けることは、まったく異なるチャレンジでした。

大きな違いを上げるとすれば、レースでは一人ではないということでしょう。レース中で起こる喜怒哀楽を仲間と共有し、協力し合えることは、大いに心強いものだといえることができます。日本百名山ひと筆書きから日本3百名山ひと筆書きの完結までの挑戦は、チーム競技の魅力と難しさを際立たせるきっかけにもなったと思います。

しかし、今回綴った刹那は全て過去の物語です。

こうしている今も時は流れ、今まさに感じたことも過去へと流れていきます。未だ感じ得ない未来を語ろうにも、それは想像の範疇を越えることはできません。

過去は現在から未来へ進むための糧にしようと思います。そこにすぎるのも縛られるのも、そして過去の自分に憧れるのもすべて止めて、「チャレンジのその先へ」と、全ては新たな未来を切り開くために踏み出す勇気の源にしていきたいと常に心に誓っています。

【略 歴】

1983年埼玉県生まれ。6歳で北海道に移住。大学までクロスカントリースキーに没頭する。

大学卒業後、アドベンチャーレースと出会い、冒険へと人生の方向転換を図る。プロアドベンチャーレーサーとして活動（最高位は2012年、2013年、2016年の世界2位）する傍ら、2014年、前人未到の挑戦として「日本百名山ひと筆書き〜Great Traverse〜」7800kmの旅を208日と11時間で達成。2015年、「日本2百名山ひと筆書き〜Great Traverse 2〜」8000kmの旅を222日で達成。2018年1月から、百名山、二百名山、三百名山の計301座を繋ぎあわせる集大成のプロジェクト「日本3百名山ひと筆書き〜Great Traverse 3〜」をスタートし、2021年8月2日に完遂させた。

【著 書】

グレートトラバース 日本百名山ひと筆書き（NHK出版）

グレートトラバース2 日本2百名山ひと筆書き（NHK出版）

それでも僕は歩き続ける（平凡社）

日本3百名山ひと筆書き 田中陽希日記（平凡社）ほか

▶ 企業展示のご案内

●時 間：9時00分～16時00分

●場 所：かがわ国際会議場ロビーホワイエ（高松シンボルタワータワー棟6階）

[順不同]

クボタ浄化槽システム株式会社

- ・浄化槽のお困りごと相談受付
- ・使用30年を超過した浄化槽の老朽化無料点検のご案内
- ・環境省補助金（最大1/2）を活用した浄化槽更新のご提案
- ・パネルとミニチュア浄化槽を展示いたします

株式会社ファルコバイオシステムズ

- ・クラウドサービス「レセスタ」紹介

尾路医科器械株式会社

- ・オープンソース・低コスト構築のフルカスタムPACSシステム紹介
- ・Mac対応薬事承認DICOMビューワ「OsiriX」紹介
- ・オープンソースDICOMサーバ「dcm 4 chee」の活用提案

日本光電工業株式会社

- ・ベッドサイドモニタ、血球計算器、オートショックAED、患者様態把握ダッシュボードソフトウェア（ノートPC）、診療所向け検査データ統合管理システム（ノートPC）

ニプロ株式会社

- ・自己血糖測定器FS next、CF 輸液ポンプ シリンジポンプ

かがわ医療情報ネットワーク（K-MIX R）

- ・K-MIX Rのデモンストレーション
- ・出展協力：香川県医師会、(株)ケーアイエス

日医ITフェアORCA

- ・日医標準レセプトソフトORCAのデモンストレーションと連携する電子カルテシステムのご紹介
- ・出展協力：日本医師会、香川県医師会、(株)スペースチャート

懇親会

時間：午後5時30～午後8時00分

場所：JRホテルクレメント高松 3階「玉藻」

式次第

- 1 開会の辞
- 2 担当 高松市医師会会長挨拶
- 3 香川県医学会会長挨拶
- 4 来賓挨拶
- 5 乾杯
- 6 祝宴

＜アトラクション＞

Special Jazz Time 多田誠司クインテット

- 7 次期担当医師会会長挨拶
- 8 閉会の辞

多田誠司 (sax)

Special Jazz Time

藤井伸昭 (drums)

Photo by S.Uchiyama

納田牧人
(guitar)

野崎英幸 (bass)

佐藤隼人 (piano)